

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

[特集] 人手不足に立ち向かう
～人材確保支援機関とみる福井のいま～




NISHIDA
西田建設株式会社
NISHIDA CONSTRUCTION

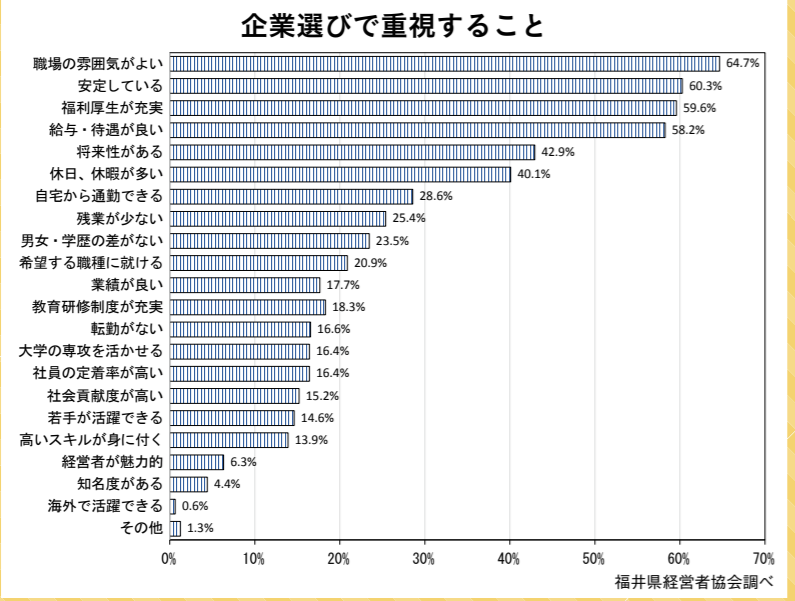
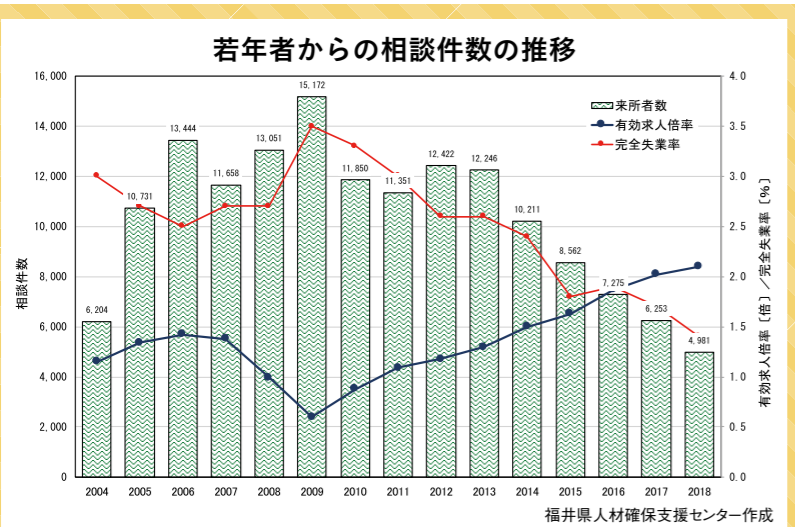
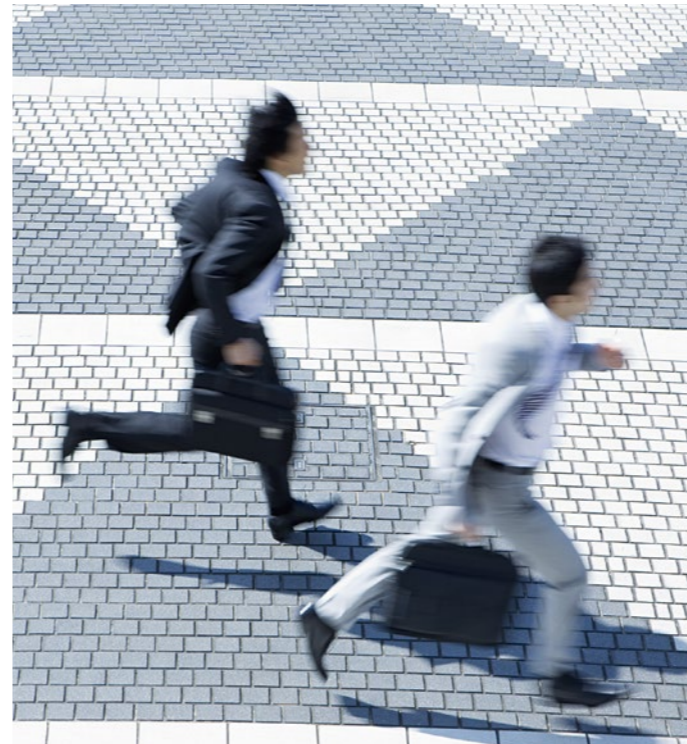
Vol. 40

人手不足に立ち向かう

～人材確保支援機関とみる福井のいま～

近年、福井県内の有効求人倍率は2倍前後で推移し、依然として全国上位に位置しており、県内企業は業種を問わず人材難・人手不足が深刻な状況にあります。また、福井県における生産年齢の将来推計人口は、2045年には30.9万人に縮小（12.2万人減）すると予測されています。『確保しようにも、そもそも人がいない』—これが、この先の企業経営を継続する上での課題として大きく横たわっています。

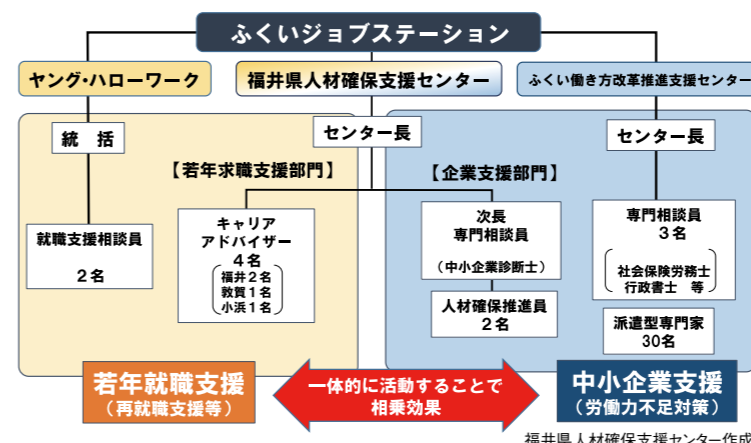
日本の社会構造が変化中、今後、中小企業として人手不足にどのように対処していくのか、採用についての意識の持ち方やノウハウについて、人材確保を専門とする支援機関としての意見や採用に成功した企業の事例をレポートします。



求人倍率は0.6倍に落ち込んだものの、その後年々上昇し、今では、2倍前後で推移しています。この状況と当センターの相談件数を合わせてみると、ピーク時には1万5千人を超えていたのが、徐々に減少し、2018年は5千人を下回っています。雇用環境は着実に改善されているのですが、採用する企業側にとっては人手不足が

深刻化していることになり、また、有効求人倍率もあくまで平均値であり、福井労働局のデータでは、建設業関係は10倍以上、介護・医療や運輸関係でも4倍を超えるなど職種間でもかなり差があるほか、大手企業と比べ中小零細企業ではさらに厳しい状況にあるといえます。

●若者の意識調査
一方で、若者の就職に対する意識はどうでしょう。福井県経営者協会は、毎年インターンシップに参加した学生を対象にアンケート調査を行っています。2019年度参加者の集計結果では、「職場の雰囲気が良い」、「安定している」、「福利厚生が充実」、「給与・待遇が良い」などが上位に挙がっています。これ



どうぞお気軽にご利用ください!
 福井商工会議所ビル | F (福井市西木田2丁目8-1)
 営業時間: 月曜～金曜 (祝日休み) 9:00～17:00

に2万人を超える就職活動を支援してきましたが、近年は、企業の人材確保が深刻化。若年相談者数も減少傾向にあることから、求職支援の機能を残しつつも、軸足を企業の人材確保支援にシフトすることとしました。

●雇用情勢と相談者の動向
 近年の雇用情勢としては、2008(平成20)年のリーマンショック後、県内の有効求人倍率は0.6倍に落ち込んだものの、その後年々上昇し、今では、2倍前後で推移しています。この状況と当センターの相談件数を合わせてみると、ピーク時には1万5千人を超えていたのが、徐々に減少し、2018年は5千人を下回っています。雇用環境は着実に改善されているのですが、採用する企業側にとっては人手不足が深刻化していることになり、また、有効求人倍率もあくまで平均値であり、福井労働局のデータでは、建設業関係は10倍以上、介護・医療や運輸関係でも4倍を超えるなど職種間でもかなり差があるほか、大手企業と比べ中小零細企業ではさらに厳しい状況にあるといえます。

に対し、「希望する職種に就ける」「大学の専攻を活かせる」「若手が活躍できる」「高いスキルが身に付く」など仕事へのやりがいや能力向上を選んだ学生は少ないことが分かります。

一つの要因としては、近年、マスコミやWeb上で、「ブラック企業」「パワハラ」などと職場環境や人間関係が問題視され、若年層も就職に対する不安感が膨らんでいることが考えられます。また、経済や社会の変化が大きく、将来が見通せない時代に育った現代の若者は、努力する意欲が薄く、主体性がない、プライベートを優先するといった傾向があると言われています。今は「働き方改革」の時代でもあります。1990(平成2)年前後のいわゆるバブル期の「24時間働く」世代とは、若者の育ってきた環境が大きく変わっていることをしっかりと認識しなければなりません。

●人材確保支援センターの役割
 「課題解決策を提案」
 「福井県人材確保支援センター」では、若者の育ってきた環境が大きく変わっていることをしっかりと認識しなければなりません。



Contents

- 1 人手不足に立ち向かう～人材確保支援機関とみる福井のいま～
- 5 【企業事例①】株式会社鯖江第一ホテル
- 6 【企業事例②】田中忠株式会社
- 7 支援機関の紹介
- 8 【企業事例③】福井県民生活協同組合
- 10 【企業事例④】西田建設株式会社
- 11 【企業事例⑤】株式会社乾レンズ
- 12 グッドデザインシンキング
- 13 今月の注目企業 株式会社米澤物産
- 15 Start a New Project
 - 資生堂QiエステサロンEstentenan
 - フリーランス 乾川 翔馬さん
- 16 こんにちは。FOIPです。
- 17 総合相談
- 18 「IT」教えて先生!
- 19 新スポット巡礼
- 20 インフォメーション他

ハローワーク求人票の書き方(例)

実際に求人情報の書き方を変えて、採用までに至った企業を紹介します。(本誌P5～P6につづく)

求人票【宿泊サービス業】のビフォー・アフター(一部抜粋)

記載欄	これまでの表現	修正した表現
特記事項	求人条件 トライアル雇用 (3か月・条件同一)	当ホテルでは残業は一切ありません。『定時上がりです』シフト制ですが、月の休み指示を『日曜日各2回』、『土曜日各2回』等融通が利きます。
会社の特長	全国230店のホテルグループです。宿泊を通して安らぎを提供することです。	社風は、カッコ良さを追うのではなく、挑戦し失敗する。ミスをしなく、より良いホテルを目指して挑戦をし、お客様に『家庭的なぬくもり』を提供し続けます。
備考	採用時の労働条件について、労働通知書に条件を確認してください。	仕事では個々の得意なところを役立てて頂くこと、信無く働いて頂くこと、自らが社会に貢献できるように努めます。



多様な人材活用についてのセミナー

ケースも増えています。

また、応募者に対するハードルも緩和されてきたように感じます。数年前までは、「経験」や「スキル」のほか、「コミュニケーション能力」、「マナー」など、企業の求める条件が多く、応募しても門前払いされるケースもあったのですが、最近では、「真面目で永く勤めてくれる人であれば良い」とか、「とりあえず採用してみよう」と、前向きに受け入れてくれる企業が多くなっています。

●様々な人材の活用と定着

相談業務のほか、企業に対し多様な人材の活用に関する普及啓発活動を行っています。企業の求める人材は、やはり将来的に事業を継続し、組織を存続するため、若い年

年齢層を求めているところが多

いと感じています。しかしながら、少子高齢化で国全体の年齢構成が歪になり、若い年齢層が減ってきているのは避けられない事実です。求める人材を若い方や男性に限定せず、仕事の内容の見直し、発想の転換により、女性、高齢者、あるいは障がい者など多様な人材をいかにうまく活用していくかを考えていく必要があります。また、2019(平成31)年4月に『出入国管理法』の改正されたこともあり、最近では外国人雇用に関する相談も増えてきています。

このほか、人材の定着をバックアップすることも重要な役割です。若者求職者が在職である場合、アドバイザーは会社に残ることを進めることもよくあります。また内定者や新入社員に対して研修を行い、社会人としての自覚や仕事に対する意欲向上を促しています。

当センターでは、このように多様な人材の活用や定着支援という観点からセミナー等を毎年10回程度開催し、多くの人事担当者や若手社員が参

力が必要です。

職場環境の改善と生産性向上

福井県経営者協会に限らず、最近の調査では「企業の雰囲気」が若者の企業を選定する最優先に挙っており、職場環境の改善が、求職者の就業意欲の向上や採用された社員の定着につながります。

企業によって、できることは限定されてくるかもしれませんが、「空調設備」「喫煙ルーム」「男女別トイレ」の整備などは、今一度検討する必要があります。

また、5S(整理・整頓・

加しています。

●企業と大学を繋げる

一方で、いかに県外の大学に進学した学生を福井へ呼び戻し、地域の産業を担ってもらおうということも重要です。県内企業に対する求人支援の一環として、特に優れた技術を有する県内企業と県外大学のキャリアセンターとの交流会を開催しています。2019年度も金沢、京都、東京の3つの会場で開催。県内企業24社の人事担当者が県外大学34校の就職支援部門の担当者と面談し、自社の技術・製品のほか、採用条件、職場環境等を積極的にアピールしていました。



県外大学キャリアセンターとの交流会

いかにして人材を確保できるかについて、もう少し詳しく話を進めたいと思います。

選ばれる企業・残ってもらえる企業になるために

PR強化やイメージアップ

Webで情報発信

当然のことですが、第一に自社を知ってもらうことが重要です。ネット社会で育った若者たちにとって、企業の「ホームページ」がないことは致命傷です。しかしながら、県内の企業は「B to B(企業間取引)」で仕事をしているところが多いこともあり、「取引先が特定されているからホームページが必要ない」という考えであつたり、仮にホームページがあつても、「取引企業を意識した内容」になっていないケースがよくあります。

まずは、若い人達に知ってもらうために、新卒者採用や中途採用について「求人採用ページ」を作って欲しいと思います。また、できればInstagramやツイッターなどSNSを使ってこまめに情報発信することも有効です。Webは学生や若手求職者にとって情報収集のツールで

いても現実的ではありません。企業の業務や作業の内容を改めて見直し、可能ならば「ダイバーシティ」という考えのもと、「女性」「高齢者」「障がい者」など様々な人材を活用することも重要です。

例えば、女性に対し「工場での機械操作やフォークリフトの運転は危ない」とか、「夜のつき合いの多い営業はできない」など、これまでの凝り固まった先入観、固定観念で「男性」に限定していることではないでしょうか。

就業意欲が高い女性や高いスキルを持った高齢者、健常者と同じように仕事ができる障がい者の方もたくさんいます。当センターでは、多様な人材を確保するため、「ふくい女性活躍支援センター」や「福井県シニア人材活躍支援センター」「福井障がい者就業・生活支援センター」ふつとわーく」等の各種支援機関とも連携し、相互に情報交換・共有しながら、企業の人材確保を支援しています。

取材を終えて

日本の経済情勢の変化は当

あり、良し悪しは別に、Web情報で企業側が評価されているのが実情です。いかなる業種であっても、求人は個人求職者への営業という気持ちで、「B to C(企業対消費者間取引)」感覚で自社PRを考えていく必要があると思います。

『求人票』の書き方を工夫

福井県内では、信頼の高いハローワークを利用されている企業の方は相対的に多いと言われておりますが、ハローワークの「求人票」は自社PRの基本になります。ただ、前述のように高い有効求人倍率や若者が仕事に求めるものの変化など、昨今の情勢を意識して内容を見直していかない企業も多いようです。まずは賃金や休日数は最近の状況、相場を調べる必要があります。また、会社の情報や仕事内容の説明で、「専門用語」が多いものや情報量が極端に少ないものをよく見ます。社内では普段から使い慣れている

然のことながら、少子高齢化による人口構造、若者や女性の意識の変化、インターネット・モバイル通信の普及あるいは途上国の経済成長など、様々な要因で企業における人材確保の方法は常に変化しています。

いろいろご紹介しましたが、共通して言えることは情勢の変化を敏感にとらえ、いかにタイムリーに適応し、改善、改革していくかに尽きると思います。人事担当者あるいは経営者とその努力を継続することが企業の将来を支える人材の確保につながります。まずは「福井県人材確保支援センター」をはじめ各支援機関などに相談することが、その取っ掛かりのように感じました。

人材確保支援センターより一言

- 求職者は、休暇日数を見えています。
- 応募者に選ばれるため、年間休日日数が100日を超えるように努力しています。

CASE 2

情報化社会を実感。

田中忠株式会社

少子化などの社会的情勢の変化とは別に、人材確保でうまくいかない要因は「立地の周辺環境」、「業種・職種の印象」、「会社の認知度」など多岐にわたるため、容易に効果的な対策を打ち出せず、経営者を悩ませています。そのような中、生産現場で働く人材を確保すべく試行錯誤し、成果を上げている「田中忠株式会社」代表取締役社長 田中亮輔さんにお話を伺いました。



代表取締役社長 田中亮輔氏



田中忠株式会社
https://tanaka-chu.com/

所在地:丹生郡越前町乙坂15-2(本社)
代表者:田中亮輔氏
事業内容:織物用原料加工および販売
TEL 0778-34-0460

昔は悩むことはなかった
「田中忠株式会社」は1921(大正10)年創業。現在は、糸加工から経糸緯糸の準備、ドローイング、製織工程に至るまでの一貫生産による、レディースアウターの裏地やティール(お茶)バッグのフィルターなどの織物製造を手掛け、ミクロンオーダーの極細繊維を加工する先端技術を有している。丹南地域(越前町・鯖江市)に3つの工場を持つが、取引先からの受注に依るには、すべての工場を24時間フル稼働にする必要がある、当社にとって人材の確保は、事業存続に関わる必須の要件である。高度経済成長期からバブル崩壊後も人手が足りない時は、時には派遣社員を採用し、時には外国人実習生を受け入れることにより、柔軟に人材を確保してきた。

しかし、求人倍率が上がり人材獲得競争になってくると、そううまくはいかない。特に丹南地区には電子部品や化学材料、自動車部品など知名度の高い大手メーカーの工場が立地。もともとB to Bを業態とする同社は地域内で比較すれば認知度も高くはない

ことから、求人をかけても応募が思うように来ないのだ。そこで、この状態を人材確保支援センターに相談したところ、休日数といった雇用条件の改善のほか、自社ホームページ(以下、HP)の見直しを指摘された。

特に当時のHPは10数年前に販路拡大を目的に作ったもので、内容がほとんど更新されないままネット上に掲載されている状況であった。「私にとって、HPやCMは『消費者』にアピールするものであり、B to B業態の自社には必要ない」とさえ考えていました。なにを指摘されているのか、その時は分からなかった」と田中社長は当時を振り返る。

時代の移り変わりを実感

HPに対する人材確保支援センターの指摘は、「事業や製品を分かりやすく紹介すること」「採用情報」のページを新設し、「雇用条件や職場環境、若手社員の紹介なども盛り込むこと」というものだった。HPをリニューアルすると効果はてき面に表れ、ハローワークや派遣会社を通じて、徐々に応募が来るようになった。「このことがキッカケとなって、採用する上でのHPの重要性を改めて実感しました」と田中社長。「スマホが普及した今、卓上パソコンでインターネットを見ていた時代からHPの意味合いそのものが変わりました。個々の求職者はHPから会社を調べることが当たり前で、HPは会社の顔であり、企業の信用と求職者の安心に繋がるものです。知名度が低い会社だからこそ、ネット上でしっかりと自社の良さを知ってもらえるように努力しなければならぬ。日々、勉強ですね」と時流への適応の必要性という自省の言葉から、経営者であることの厳しさを教示していた。

結果、同社は正社員を2名、派遣社員を2名採用することができ、今でも求人に対する問い合わせが絶えないとのことである。

新人Mさんより一言

製造現場で、家から近い会社で働きたかった。近所にはたくさん会社があるので、スマホで調べて一番分かりやすかったので応募しました。実際に働いてみて、HP情報とのギャップもないので、ここで働けてうれしいです。

CASE 1

“お客様”目線も “求職様”目線も考える

株式会社鯖江第一ホテル

北陸新幹線の敦賀延伸を見据え、近年県内にも大手ホテルが続々と進出。地元ホテル業界では危機感が高まり、宿泊客はもちろんのこと、働く人材も取り合うといった厳しい環境に置かれています。鯖江市も例外ではなく、そうした環境においても、人材確保に奮闘し、成果を上げている「株式会社鯖江第一ホテル」の支配人 堀裕満さんにお話を伺いました。



支配人 堀裕満氏



株式会社鯖江第一ホテル
https://www.dai-ichi-hotel.co.jp/

所在地:鯖江市新横江1丁目116
代表者:堀裕満氏
事業内容:宿泊業
TEL 0778-54-0111

窮地は突然やってくる
1993(平成5)年に国道8号線沿いで先代の父親が創業し、2018(平成30)年に経営を引き継いだ裕満さん。代替わりを機に、ホテル業界の生き残りをかけ、同業他社との差別化や魅力づくりが、それは突然やってきた。持病などが原因でベテラン社員2人が同時に退職する事態である。もともと社員は決して多くなく、ローテーションに欠員が出ると管理者がその穴を埋めているという。当時は、ハローワークや求人誌などあらゆる手段を用いた求人募集をかけたが、それでも応募がなかった。管理者が2人の欠員を埋め続けることは難しく、藁にもすがる思いで人材確保支援センターに相談した。

求職者目線に立ってない

相談の結果、ハローワークに提出した『求人票』の記載内容についてアドバイスを受けた。最初に持参した『求人票』を見て、「業界の専門用語が多く、関係者にしか理解できない。これでは未経験の求職者目線に立ってない」と指摘された。書き直した求人票をハローワークに出すと、何か月待っても来なかった応募がわずかに1週間で来るようになった。募集期間中に5人の応募があり、その中から2人を採用することが出来たのであった。

条件を変えることなく採用にいたる

求職者は全く関心を持たない」と指摘。相談を受けていると、社内の雰囲気や風通しの良い社風、サービス業でありながら残業が一切ないなどたくさんさんの「強み」があるにも関わらず、何も伝えきれていないことが分かってきた。「普段から『お客様目線』で接客しなさいと社員教育していた手前、『求職者目線』で求人できていないと指摘されたときはハッとさせられました。たね」と裕満さんは当時を語る。人材確保支援センターと相談しながら、直ぐに求職者の立場に立った内容に求人票を見直したほか、企業としてアピールポイントを整理し、しっかりと記載するとともに、裕満さんとして「鯖江第一ホテル」に対する自身の「こだわり」も載せた。

見直した求人票の即効性にも驚きだが、注目すべきところは賃金や労働時間、休日などの労働条件を一切変えずに採用に至ったところである。通常、労務の内容に弱点があり、まずはそれを改善してから求人票をバージョンアップしていくのが一般的だが、同社はその必要がなかった。ありのままの魅力が伝えきれていなかっただけであり、求人票の重要性を身に染みて実感したと裕満さんは振り返る。「現状に満足せず、次は離職ゼロを目指して業務効率化を図りたい」と裕満さんは更なる意欲を見せる。

新人Kさんより一言

接客が好きなきともあり、就職するんだら接客業としたい。当社の募集を見た際に詳しく情報が載っており一度職場見学を申し込みたい。その際にミスを申し込みました。社風と残業がゼロということと、そしてお客様のことを考えて研究しているという話を聞きこの会社で働いてみたいと思えました。まだまだ半人前ですが、お客様に多くのお礼をいただき提供できるような頑張っています。

CASE 3 まだ見ぬ求職者を発掘する

福井県民生活協同組合

長寿高齢化が進む中、介護職の職員数は増える傾向にあるものの、要介護者や介護施設の増加には追いつかず、有効求人倍率は4倍近くの高い水準で推移しています。ややもすると同業者間での争奪戦になっていますが、そのような現状の中、ネットワークを広げながら人材確保につなげている「福井県民生活協同組合」の取り組みについて採用担当 武田一徹さんにお話を伺いました。



人財教育・採用グループ
武田 一徹氏



採用に成功した介護施設
「岡保きらめき」

福井県民生活協同組合
<http://www.fukui.coop/>

所在地: 福井市開発5-1603(本社)
代表者: 竹生 正人氏
事業内容: 複合サービス業(協同組合)
TEL 0776-52-8452

介護職の現状
1978(昭和53)年に設立し、今年で43周年を迎える福井県民生活協同組合(以下、県民生協)は、よく知られる『食品スーパー』『ハーツ』の『食品スーパー』『ハーツ』の店舗事業や『宅配事業』のほか、『高齢者介護事業』を3本柱として多角的な事業展開を進めている。
高齢者介護事業では、県内11か所が高齢者介護施設「きらめき」を運営。今後さらに、あわら市に「金津きらめき」、鯖江市に「特別養護老人ホーム」の新設を計画しており、介護職の採用、人員の確保が喫緊の課題となっている。しかしながら、最近、随分改善はされてきているものの、介護は3K(きつい、汚い、給与が安い)の職種として雇用条件が厳しいという印象があり、より良い労働条件を求め離職率も比較的高い。有効求人倍率も高いことから、同業他社と限られた人材の獲得競争、パイの取り合いとなっているのが現状である。

求職者の新規開拓
人材確保支援センターからは「潜在的に介護を志す人材がいるところにアプローチしてはどうか」と助言があり、介護人材の養成や能力開発を行っている「公益財団法人介護労働安定センター(以下、同財団)」を仲介してもらった。その結果、同財団主催の「会社説明会」に参加できたほか、職業訓練生を自社施設の実習生として受け入れる契約を結ぶことができた。実習体験を通じて訓練生には施設の良さをしっかりとアピールすることができ、実習終了後に即採用という結果に結びつけることができた。「同財団は『研修講師』として職員を派遣したことはあったが、『職員採用』という形で関わることは思ってもいなかった。実習をすれば実際に働く職場の雰囲気

新人Sさんより一言
研修の一環で実際に「岡保きらめき」へ行きました。その際に、研修で学んだことと現場での実践が一致していると感じ、就職を決めました。実際に就業するにあたって、家から通えるかどうかも実習の際に確認できました。

や通勤手段も体験でき、求職者は自分に合っているかどうかをリアルに判断できる。経験したことがそのまま実践で活かせるので、施設にとっても求職者にとってもメリットは大きい」と武田さんは熱く語る。
今年春からの施設開所に向けた人員確保の道はまだまだ遠いが、志ある人材に出会うことができる窓口を見つけたことは大きな弾みとなっている。同財団からは「介護士の卵」を採用するためのノウハウや受講者の生の声を聞くことができたことも武田さんにとって大きな収穫となり、さらなる採用ルートの開拓に意欲を燃やしている。



会社説明会風景。

ご存知ですか?

支援機関の連携網 ~他支援機関のご紹介~

福井県人材確保支援センターは、他の支援機関と連携しています。それぞれ特色のある支援機関と連携することにより、充実したサポートをすることができます。ここでは連携している支援機関の一部をご紹介します。



職業紹介

- **ふくい女性活躍支援センター**
住所: 福井市下六条町14-1
福井県生活学習館(ユニー・アイ ふくい)内
お問合せ先: 0776-41-4244
- **福井県シニア人材活躍支援センター**
住所: 福井市手寄1丁目4-1 AOSSA 7階
お問合せ先: 0776-43-0881
- **ふくいプロフェッショナル人材総合戦略拠点**
住所: 福井市川合鷺塚町61字北福田10
(福井県工業技術センター内)
お問合せ先: 0776-55-1550

人材育成

- **福井県立産業技術専門学院**
住所: 福井市林藤島町20-1-3[福井市]
敦賀市道口19-2-1[敦賀市]
お問合せ先: 0776-52-2120[福井市]
0770-22-0143[敦賀市]
- **(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構(ポリテクセンター福井)**
住所: 越前市行松町25-10
お問合せ先: 0778-23-1010
- **公益財団法人 介護労働安定センター(福井支所)**
住所: 福井市中央1-3-1 加藤ビル6階
お問合せ先: 0776-25-1365

就労支援

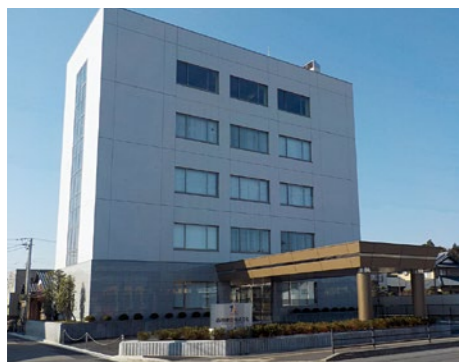
- **福井障害者就業・生活支援センターふっとわーく**
住所: 福井市島寺町67-30
(若越ひかりの村内)
お問合せ先: 0776-97-5361
- **ふくい若者サポートステーション**
住所: 福井市光陽2丁目3-22
(福井県社会福祉センター内)[福井市]
三方上中郡若狭町大鳥羽27-13-4
[嶺南サテライト]
お問合せ先: 0776-21-0311[福井市]
0770-64-1788[嶺南サテライト]

労務改善支援

- **ふくい働き方改革推進支援センター**
住所: 福井市西木田2丁目8-1
(福井商工会議所ビル1階
ふくいジョブステーション内)
お問合せ先: 0120-14-4864

県内企業キャリアアップ
応援奨励金のモデル企業を募集します
(詳しくは本誌P20へ)

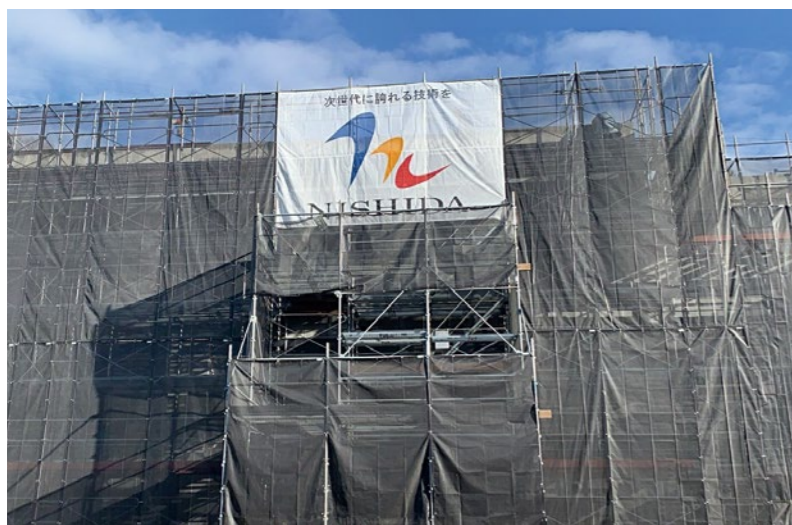
以上のような支援機関との連携を活かすことにより、人材確保に成功した企業もあります。(詳しくは本誌P8へ) また、福井県より補助金の公募があります。



各工事現場を環境パトロールの様子。



1つのテーマについて話し合うランチ会の様子。



チームの意見を採用して導入したメッシュシート。現場内の明るさや、強風時の足場倒壊などのリスク対策になる。

「ふくいグッドジョブ女性表彰」の受賞後は、新聞など各種メディアでの紹介も増え、チームはもちろん西田建設の知名度がアップしたと感じている3人。今後は、「新入社員」の早期離職がないよう、現場の上司のコーチングやリーダーシップ研修会を開きたい、「学校に直接行って、担当者の先生から学生へ採用情報がいかに伝わりやすいようにしたい」、「いろんな選択肢の中から、建築に少しでも興味のある学生を選んでもらえる会社になりたい」など、それぞれ笑顔で抱負を語ってくれました。

う女性部会が発足。3年前に、西田社長の発案で、各部署から女性1人が前に出て快適な職場環境づくりや社員の健康管理を一層推進する「環境推進広報チーム」が結成されました。

活動は就業時間内が基本で、3人は仕事と並行しながら、それぞれ気づいたことを専用のエクセルファイルに記入し、クラウドで情報を共有。西田社長も参加する月1回の

定例会議で、環境・広報・リクルートなど多岐にわたる内容を話し合っています。

女性も挑戦できる社風 受賞後は知名度も向上

チームはこれまで工事現場や作業所での環境パトロールや現場担当者のストレスチェック、メンタルヘルス研修や禁煙支援研修などを実施。「身の周りの整理整頓

や身だしなみがきつかりできないと、仕事もきつかりできない」という西田社長の考えに基づき、現場事務所内の清掃状況や作業着についてもしっかりチェックするようになりました。

こうした働きやすい環境への改善は、採用面でも好影響

CASE 4

女性の視点を活かした活動を、採用面での強化につなげる。

西田建設株式会社

総合建設業を営む西田建設株式会社は、2017(平成29)年から女性の視点を活かした『環境推進広報チーム』を立ち上げ、働きやすい職場環境づくりと採用活動強化を図っています。2018(平成30)年には、企業内で優れた成果を上げた女性グループとして『ふくいグッドジョブ女性表彰』を受賞。メンバーの加納利唯さん、本多かおりさん、松羅美幸さんに発足の経緯と現在の活動を伺いました。



加納利唯氏 本多かおり氏 松羅美幸氏



西田建設株式会社
https://nishida-kensetsu.net/index.html

所在地:福井市大宮2-26-35
代表者:西田 康蔵氏
事業内容:総合建設業
TEL 0776-26-3609

女性社員の活動を通しイメージアップに貢献

「環境推進広報チーム」は、工事部の加納さん、営業部の本多さん、総務部の松羅さんという、部門をまたいだ3人の女性社員で構成されています。「働きやすい職場環境づくり」と「見える・魅せる現場改革」を目指し、年間目標を立てて職場環境の改善に向けた提案を実施。顧客や施工現場近隣住民の信頼向上につなげ、建設業のイメージアップに貢献しています。また、そうした女性社員の活躍を、企業説明会や学生向け講演会、SNSでの動画配信などで紹介し、職場見学会や採用試験への参加数増加につなげています。

録をするぐらいで採用活動への関心は薄く、活動に参加するようになって、部署によって採用面での危機感に差があることを実感しました」と振り返ります。

チームでの活動が本格化するに伴い、「建設業のブースに女性がいるのは同業他社にはなく、女性の方が話しやすい雰囲気があるのか女子学生も訪ねてくれるようになりまし」と手応えを感じています。

ランチ会からスタート 仕事と並行して活動を

同社の女性の視点を活かした活動のスタートは、4年前に遡ります。「西田社長は、建設業界の3K(きつい、きかない、危険)を払拭したい」と常に言っていました」と振り返ります。

「建設業というのがあると思いのですが、活動前は企業説明会などの会場で学生はいるけど、当社のブースは閑散として学生が立ち寄りづらい印象がありました」と語る加納さん。ブースのレイアウトも「賑やかにされているところがあるなかで、ぼつんと淋しいブースでした」と本多さん。松羅さんは「実は、それまで総務部では求人票の登

録をしています。「ちょうど私が積算課に配属された頃、社会的に女性活躍の気運が高まっていた、西田社長の方から建設業で女性ももっと働けるよう何かできることはないかと声をかけられました。最初は1人でやっていたのですが、松羅さんや本多さんに手伝ってもらううちに3人で動くことが多くなりました」と振り返ります。

さらに、女性社員の増加にあわせ、現在も続く女性だけのランチ会が開かれるようになり、テーマを決めて話し合



説明会には女子学生が話を聞きに来る。



GOOD
DESIGN



2019年度グッドデザイン賞受賞

サングラス [オールタイムサングラス®] / 株式会社 乾レンズ

「紫外線+ブルーライト」カットレンズ（特許第 4643233 号）を開発。いつでもどこでも常用できる透明なレンズでありながら、「紫外線」や眩しさを感じやすい「ブルーライト（太陽光・人口灯に含まれるエネルギーの強い光）」をカットする事で、オールタイム（いつでもどこでも）目を守るサングラスを開発しました。紫外線等から目を守るため、顔に沿う包まれる空気感なフレームデザイン+金属アレルギーレス純無垢βチタンを使用。サングラスを使用できない環境・仕事や白内障の術後等も日常に溢れる有害光線から目を守ることが可能です。フレームとレンズの性能を活かし目の健康を意識する中高年の快適な暮らしをサポートします。

【審査委員の評価】

担当審査委員 | 濱田 芳治 佐々木 千穂 ムラカミ カイエ 吉泉 聡 Somchana Kangwarnjit

紫外線やブルーライトが目と与える悪影響は、日本においても多くのの人々にとって共通認識となったといえる。一方で、日本におけるサングラスの着用は、依然として一般的になったとはいえ、特に、仕事やフォーマルな場では避けられる傾向が強い。透明でありながら紫外線やブルーライトをカットできる本製品は、そういった相反する状況の解決が可能であり、いつでもどこでも常用できる。10 年前からこのような問題提起と解決方法を提供し啓蒙し続けている点に評価が集まった。白内障患者のように、サングラスの着用が必要な人々にとっても有効であることをはじめ、多くの人々にとって必要なことから、スタイルとしての今後の展開にも期待したい。

【DATA】

- 受賞企業 (株) 乾レンズ
- プロデューサー (株) 乾レンズ 鯖江支店 常務 諸井晴彦
- ディレクター (株) エツミ光学 代表取締役社長 小林和弘 + フジイオプチカル (株) 代表取締役社長 藤井 茂
- デザイナー (株) 乾レンズ 鯖江支店 常務 諸井晴彦
- 発売日 2009 年 4 月
- 仕様 材質) フレーム:βチタン レンズ:光学用プラスチック (凹面特許ハイドコート)

第29回

グッドデザインシンキング 福井県のグッドデザインを紹介

CASE 5

社員全員で 常に挑戦。常に改革。

株式会社 乾レンズ

世界的にも知名度が高まってきた「福井のメガネ」であっても業界の人材確保は難しい。ましてやOEM生産（相手先ブランド名製造）を主力としている企業は知らない求職者も多く、応募が来ないこともあるというのが現状です。そんな逆境に常に立ち向かっている、鯖江市丸山町の「株式会社 乾レンズ」の執行役員 諸井由佳理さんと企画開発担当部長 吉田圭助さんにお話を伺いました。



執行役員 諸井由佳理 氏



営業部長 吉田圭助氏



同社オリジナルブランドが「2019年度グッドデザイン賞」を受賞しました！詳しくは本誌P12にて！

株式会社 乾レンズ
https://www.inuilens.com/

所在地:鯖江市丸山町1-3-31(鯖江支社)
代表者:乾 喜則氏
事業内容:サングラスレンズ等の生産・販売
TEL 0778-51-5447 (鯖江支社)

「応募が来ないんです…」
サングラスレンズを主とした製造・販売を手掛ける同社は継続的にハローワークを利用して求人を出してはいるが求職者の応募がなく、頭を悩ませていた。
そうした状況を人材確保支援センターに相談したところ、最近の若者はスマホでの求人検索が主流で、休日数も気にする傾向にあり、「年間休日数が2ケタという時点で求人票検索からはじかれやすい」とのアドバイスを受けた。また、職場の整理・整頓、作業効率の改善も必要と感じたことから、職場改善に関する専門家を紹介された。人事を担当する諸井さんは、組織・職場改革を任せられた吉田さんと共に先頭に立ち、まずは、関連する数々の講習会等にも参加。「働き方改革」や「5S活動」で業務効率化を図ることとで休日数を増やし、よりよい労働環境を整えることに尽力した。また、こうした取り組みにより生産性も向上し、オリジナルブランドの製造にも力を注ぐ

ことができるようになった。
「応募がきた！」が…
人材確保のために奔走した甲斐もあり、求職者の反応もよく応募者は増えてきたが、ほとんどが女性というのが実情だった。当時、募集していた営業職や工作機械を使用する職種は、従来から男性の仕事としての固定概念があり、応募者があっても女性の場合は採用を見送ったこともあったという。
ここで、再び、人材確保支援センターに相談。
井の中の蛙大海を知る
人材確保支援センターからは、「女性には男性にない感性をいかし活躍している人もいる。女性の活用も積極的に考えるべきでは」とのアドバイスを受けた。
また、吉田さん自身も業務効率化のための企業視察や取引の関係で海外に足を運ぶ中、たくさん女性の女性が各地で活躍していることを目の当たりにしていた。「男性がやるもの」と思い込んでいた職種でたくさん女性が活躍してい

たことに驚いた。個人でもそうだが、会社として女性に対する認識を改める必要性を痛感した」と当時を振り返る。「ふくいジョブステーション」からも女性1名を紹介される中、社内でも幹部や年配の男性社員の意識改革を図り、新たに製造で1名、営業で2名の女性社員を採用した。「実際に採用してみたら、『即戦力』でした！女性に対する考えを改め、気づけば今では女性社員の方が多いくらいです(笑)」と笑顔を見せる諸井さん。「次は、働く女性に優しい制度づくりや職場環境の改善など、会社としてやるべきことはまだまだたくさんあります。」挑戦と改革は、これからも続きます。
新人Yさんより一言
いくつかの企業に応募したり、事前見学にも行ったが、一番雰囲気良かった。会社を見せってもらう中で、自分の目指すところも見えたのでここで働きたいと思った。
新人Mさんより一言
求人票に「見学」という文字が入っていたので、見学してみようという気持ちになった。同業他社と比べて一番求職者として知りたい情報が充実していた。

今月の注目企業

細幅織物技術を次世代ICT分野に展開

株式会社米澤物産

福井の地場産業の一角を担う繊維産業。近年は、土木、宇宙、医療など非衣料分野への展開を進めている企業も少なくありません。福井市にある株式会社米澤物産もその一つで、福井県工業技術センター、オリンパス株式会社との共同研究による「フレキシブル導波管」を製品化し、先ごろ発表しました。電気通信分野進出の足がかりとして同製品を位置づける同社。開発までの道のりを代表取締役の米澤稔喜氏に伺いました。

組紐製造の技術を電気通信分野に応用

1952（昭和27）年創業の同社は、幅130ミリ未満の「細幅織物」を専門に手掛けるメーカーで、企画・製造・加工・検品・出荷までの一貫体制を強みとしています。2017（平成29）年に社長に就任した米澤氏によると「細幅織物は分業制で作られることが一般的」で、同社のような一貫生産をとる国内メーカーは少数派です。事業は現在、インテリア資材、アパレル雑貨資材、産業資材の三本柱で展開。15年ほど前から手掛けている産業資

材分野は、ラジエーターホース用途など自動車分野を手始めに、生分解性繊維、抗菌・防臭繊維等の高機能繊維を用いた製品など多方面にわたっています。今回のテーマ「フレキシブル導波管」のエピソードに入る前に導波管について簡単に紹介しましょう。導波管とは、電気通信分野の機器内部に用いられる配線用の電子部品を指します。管状で金属製であることから柔軟に曲げることができず、「機器設計が『導波管ありき』」になってしま

フレキシブル導波管はそうした欠点を解消する可能性のある製品です。同社はかねて福井県工業技術センターと繊維関連の情報交換はもちろ



第三中角工場製紐部門

代表取締役 米澤稔喜氏



従来品に匹敵する性能 専門家からお墨付きも

フレキシブル導波管は、芯にあたる内部誘電体の周りに0.3ミリ幅の銅箔を編み込んだ外導体を巻き付けて作る製品。「ブラインド向けなどで直径0.5ミリまで絞り込める製紐技術はあったのですが、0.3ミリ幅、しかも銅箔を使った編み込みは初めて。とりあえずやってみようという挑戦心で取り掛かりました」

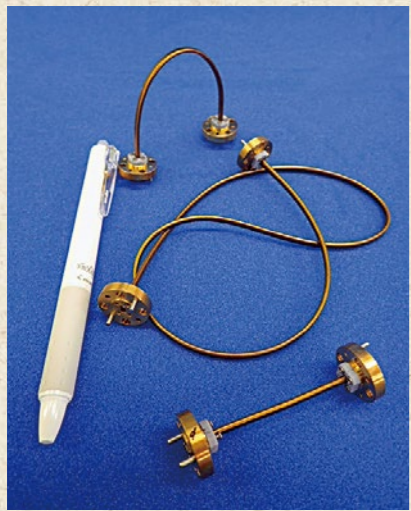
同社が研究に参画したのは2019（平成31）年4月。既存の製造設備を使っ

対策などにずいぶん気を配ったそうです。

従来の導波管に比較したときの伝送特性が懸念材料でしたが、「伝送損失が想定より少なく、工業技術センターさんやオリンパスさんの要求レベルを満たしていました。現在、量産化に向けて既存の製造設備では品質の安定性に懸念があるため製造設備を開発中です。」今回の試作で気付いたいくつかのアイデアを取り入れた製紐設備で、試作をしながら進めており、2月中には完成予定だそうです。

「新価値創造賞」弾みに量産体制確立を目指す

昨年11月には、東京ビッグサイトで行われた「新価値創造展2019」（主催・中小



開発した「フレキシブル導波管」

企業基盤整備機構）で「新価値創造賞特別賞」を受賞。専門紙などで取り上げられたことで、海外の大学からの問い合わせがあるなど大きな反響が寄せられています。



(上)新価値創造展の出展風景 (下)表彰を受ける事業担当者

もつとも、「社内での啓発活動はこれから」と米澤氏。「いわゆる『糸へん』の業界とは分野が大きく違うので社員にも戸惑いがあるみたいですね。ただ、インテリアやアパレル雑貨などに並ぶ『事業の柱』の必要性は社員全員が感じており、社内勉強会などで普及に努めていければ」人工衛星、測定器、サーバ、スーパーコンピュータ、車載機器などへの展開が期待される同製品。「2月には第一弾のサンプル出荷ができるよう準備を進めています。サンプル出荷から、いち早く量産体制に結びつけたいですね」と、米澤氏は意気込みをのぞかせます。

株式会社米澤物産

福井市八重巻中町1-13
代表者：米澤 稔喜氏
事業内容：細幅織編物製造卸
TEL：0776-56-0135
http://www.yonezawa-bussan.jp/



こんにちは!
FOIPです。

たて編吸音材を活用した 保育向け音響製品「カルム」 ～静のパーソナルスペース・リラックススペースへの新しい提案～

福井県工業技術センター 新産業創出研究部

保育向け音響製品「カルム」とは

保育のノウハウを生かした製品開発を進める株式会社ジャクエツ（敦賀市）と福井県工業技術センターが共同開発した、『静かな音環境の中で子どもの発育をサポートできる』音響機能に目を向けた商品です。

一般的な吸音製品は騒音全般が対象となり、子どもの高い声の周波数に的を絞った製品がありませんでした。今回開発した製品では、特殊な立体構造の「たて編吸音材」（福井経編興業株式会社、福井県工業技術センターの共同開発製品）を使用し、子どもの高い声を効果的に吸音できるよう工夫しています。

デザインには保育現場の以下の意見を取り入れました。

●保育士の目線で『安全性・利便性』に配慮

外から内部が確認できるよう、カーテン式の開口部を設けました。子どもがぶつかってもケガをしないよう、木製の丸棒・柔軟性のある紐・マジックテープを使用した組み立てにしています。

たて編吸音材は軽量なので、折り畳み収納や破損時の取り換えが容易で、汚れた場合には洗濯できます。

●子どもの『心理面』に配慮

ほどよい遮光を保てるカバーリング材をセレクトし、閉塞感からのストレスが生じないようにしました。

「カルム」は、子どもたちの多様な個性に応じた、静のパーソナルスペース・リラックススペースを提案できる、保育支援のための新しい機能性音響製品です！

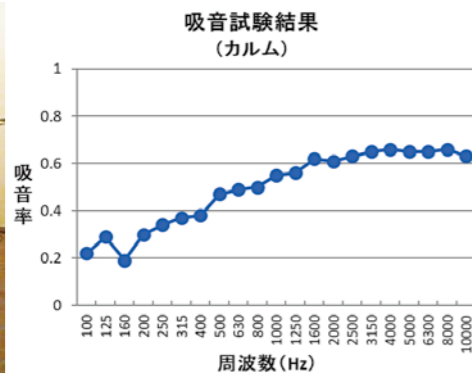


保育向け音響製品「カルム」(株式会社ジャクエツ販売)

保育向け音響製品「カルム」の開発 (株式会社ジャクエツ、福井県工業技術センター)



- サイズ: 120×120×167cm
- 重さ: 8.6kg
- 材質: ポリエステル、ブナ材



◎全周波数帯域でバランスの良い吸音
(平均吸音率: 0.5~0.6)

H31-R1年度 地域資源活用共同研究事業

「カルム」の音響設計では、実際の幼稚園児のにぎやかな声を集音して音響解析し、子どもの発声音域 (250~2.5kHz) に合わせた吸音性能 (平均吸音率: 0.5~0.6) としました。吸音率は高すぎると、密閉・閉塞感が生まれるため、静かで落ち着いた空間を保つのに適度な吸音性を実現しました。令和元年8月に製品化し、現在、保育・教育関連分野を中心に販路拡大中です。

創業者・若手経営者の挑戦

Start a New Project

(公財)ふくい産業支援センターでは『ふくい創業者育成プロジェクト』を通じ、県内の創業者をさまざまな角度からサポートしています。ここでは、創業者や若手経営者の新しい視点を活かしたユニークな事業や立ち上げまでの道のりをご紹介します。

Instance 21

挑戦したいと願う女性の背中を押してあげたい！ 20年越しの夢を叶え、自宅の一室にエステサロンをオープン

高いコミュニケーション力と販売能力で他を圧倒

青山さんは高校を卒業後、2年間のバスガイド勤務を経て、20歳で化粧品専門店に入社。バスガイド時代に培ったコミュニケーション力を強みに、入社当初からその高い販売能力は他を圧倒していました。「売上=お客様からの信頼だと思うと、物が売れることが楽しくて仕方がなかった。その頃からいつかは自分で起業したいと思っていた」と振り返ります。

20年越しの起業の夢を実現

出産を機に勤めていた職場を退職。5年間子育てに専念したのち、30歳でドラッグストアの化粧品担当として再就職します。家事と育児と仕事を両立するために、パート社員として働く道を選んだ青山さんですが、仕事に向き合う情熱は一向に衰えず、入社後すぐに化粧品部門の売上げを激増させました。その活躍の噂を聞いた古来の化粧品専門店から熱烈な誘いを受け、パート社員として復帰を果たします。

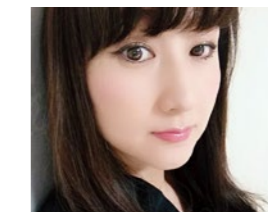
青山さんの躍進は止まり



ません。わずか1年で資生堂化粧品販売を福井県1位に押し上げ、その3年後には担当化粧品売上げ2,000万円アップを達成。資生堂社長から全国表彰を受けるという快挙を成し遂げました。その後も自身のライフスタイルに合わせて勤務先を変えながらカリスマ化粧品販売員として活躍し、10ヶ月間の起業準備期間を経て、2019年8月に自宅の一室にエステサロンをオープン。20年越しの起業の夢を実現させました。

挑戦したい女性の背中を押してあげたい

前職時代からのファンも多く、青山さんのサロンにはお客様が絶えません。「女性の身体と心の健康と美容を通して、挑戦したいと願う女性の背中を押してあげたい」と語る青山さん。そのバイタリティで、さらなる活躍が期待されます。



資生堂Qiエステサロン
Estentenano(エステンテナーノ)
代表 青山 景子さん
<https://estentenano.business.site/>
所在地: 丹生郡越前町気比庄39-18
TEL 090-3293-9854

Instance 22

マイクロドローンを活用した動画で 企業のPR活動を支援する学生ベンチャー

マイクロドローンを駆使したPR動画制作

最近ではドローンを利用した映像を見る機会が増えてきました。また、同じドローンでも「マイクロドローン」という小型の室内ドローンも登場し、これまであまり目にしたことのないユニークな映像を制作できるようにもなってきました。こういった新しい技術を積極的に活用し、これまでにない企業向けPR動画の制作事業で創業を目指すのが、本稿で紹介する乾川翔馬さんです。

創業を目指すきっかけ

乾川さんは、福井県立大学に在籍(本事業に集中するため昨年の9月から休学中)している学生ベンチャーです。PR動画制作事業で創業したのは、県内のIT企業でインターンシップをしていた時に県内店舗のマーケティング業務に携わったのがきっかけ。「動画やSNSなど、県内では使いこなされていないツールを活用したPR事業に可能性を感じた」と言います。「マイクロドローンで撮影した動画は、これまでにない世界を伝えることができる」と言う乾川さん。「オーナーさんからの反応は上々で、結婚式場や美容院、飲食店など集客を目的とした受注をもらっている。その他にも、就活

生向けの起業紹介動画や、工場向けの作業マニュアル動画など、すでに多くの問い合わせがあり手ごたえを感じている」と目を輝かせます。

どんどん仕事を受けて自分の可能性を拡げたい

また、乾川さんは、学生である利点を活かして、学生インフルエンサーによるマーケティング支援や、SNS運営代行も手掛けたいと考えています。「将来的には業務を絞り込んでいくことになると思いますが、今はどんどん仕事を受けて自分の可能性を拡げていきたい」と将来を展望します。県外からの集客や、若者へのリーチなど、動画やSNSの活用は重要となってきているが、県内には対応できる事業者が少ないとも聞きます。乾川さんには、そんな現状を打破する積極的な事業展開を期待したいところです。



フリーランス 乾川 翔馬さん
所在地: 坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16
福井県産業情報センター7階
スタートアップエリアE

ご紹介するのはこちらの講座

プロ直伝！ 映像制作 実践ワークショップ

募集中

日時：令和2年
3月14日(土) 13:00~17:00
15日(日) 10:00~17:00
会場：福井県産業情報センター
(坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16)
受講料：12,600円(消費税抜き)
講師：株式会社 ロボット 清水 康彦 氏

《昨年の受講者の声》

- ・プロの仕事を見せていただけて、企画から編集、完成までの流れを色々な角度から学べた。
- ・素人にも丁寧に教えていただき、実際に制作することで大変勉強になりました。
- ・撮影機材、撮影方法、表現について知ることができました。

映像クリエイターとして今では様々なジャンルの作品を生み出しているらしいですが、どのように映像制作を学んでこられたのですか？

デザイン系の専門学校に通っていたころから、とにかくたくさんの制作をしてきました。課題だけでは満足できず、卒業までに100作品は自主制作してきたと思います。その後、上京するのですが、それから半年は自主制作に没頭、その後はミュージックビデオ制作会社のアルバイトやアシスタントをやり、とにかく映像制作漬けの毎日でしたね。

そんな中で自主作品がプロデューサーの目に止まり、初監督作品を制作。それが業界内で評価を受けたことが転機となり、キャリアのスタートになりました。低予算ですが仕事が殺到するようになり、24歳のとき独立。それまでの経験を活かしてジャンル問わず様々な制作を手掛けてきました。今の会社にはフリーランスとして所属しています。

そんな清水監督をお呼びしての映像制作体験、今からとても楽しみです！今回のワークショップではどんなことをするのでしょうか？

映像は、ホームビデオやスマホ動画のような「①記録

「IT」教えて先生！

～新人IT研修担当者が聞いてみました～

(公財) ふくい産業支援センターでは県内中小・個人事業者の皆さま向けに、IT研修を開催(年間約80回)しています。これから開催される注目の講座について、新人IT研修担当者が講師にお聞きしました。

全国レベルで活躍するプロを迎えてのワークショップ 映像制作の第一線を体験してみませんか？！

教えてくれるのはこの人

株式会社ロボット 清水 康彦 氏

坂井市春江町出身の映像ディレクター・プランナー・脚本家。フリーランスとして活動を開始し、広告(楽天、リクルート、ロート製薬、エアウィーブ、IKEA等)、MV(平井堅、チャットモンチー、GLAY、桑田佳祐、川本真琴等)、ファッション映像、長編映画の脚本・監督を手がけるなど、様々なジャンルで活躍中。2019年 初長編監督映画「MANRIKI」(企画プロデュース主演・齊藤工、原案脚本・永野) 2020年 CXドラマ「ペンション・恋は桃色」脚本総監督(主演・リリー・フランキー、斎藤工、伊藤沙莉)



映像)、テレビ番組やWeb動画のような「②コンテンツ」、映画やMVなどの「③メディア」の大きく3つに分けられると考えていますが、今回は3つ目の「メディア」に当たる短い映像を作ってみようというワークショップです。動画や音楽を使って“表現”するという、クリエイティブな映像制作を体験していただきます。

テレビ番組・CM制作など、普段お仕事で映像に関わっている方にとっても新しい体験になるでしょうし、これからWeb動画を作りたいという方にも今後の役に立つ経験になるはず。機材の使い方や編集のやり方についてもお伝えしますので、初めての方も安心して楽しんでほしいですね。

最後に参加される方に一言メッセージをお願いします。

映像の仕事を通して、どのような体験ができるか、何を学べるか、常に考えています。これから新たに出会う皆さんと、新たな体験ができることを楽しみにしていますので、奮ってご参加いただきたいと思います。

お申し込み
お問い合わせ先

(公財) ふくい産業支援センター
ふるさと産業育成部 ベンチャー・Eビジネス支援グループ
TEL:0776-67-7411 E-mail:pckouza@fisc.jp
お申込みはホームページ <http://www.fisc.jp/pckouza> から

情報化人材育成事業
IT研修

儲かる会社になるミニセミナー

経営支援の専門家(中小企業診断士)が 儲けるコツを伝授します

受講
無料

儲かる会社になるために、特別な能力は必要ありません。
なぜなら、必要なのは才能ではなく、基本知識だからです。

数字に苦手な方も、アドバイスを実践し改善につなげています。

「忙しいのに、なかなか手元にお金が残らない…」とお思いの経営者の皆様へ、
経営支援の専門家がすぐに実践できる「儲けるための考え方」を助言します。

ミニセミナー1 今日からわかる。明日からできる。“儲けるための考え方”(60分)

たった5つの質問で作れる『お金のなる木チャート』を使うことで、明日から実践できる“儲けの一手”が見えてきます。「忙しいのに、儲からない…」そんな方におすすめのセミナーです。

(より踏み込んだアドバイスを行うため、できましたら直近期の決算書をお持ちください)

ミニセミナー2 儲かる値段の決め方とは(60分)

「他社よりも安いのに売れない」「売っても売っても、手元にお金が残らない」そうした商品・サービスは、値段の付け方や見積りの仕方に問題のある可能性があります。値決めの基本的な考え方を学ぶことで、儲かる販売戦略を考えます。

ミニセミナー3 目からウロコの業務改善(60分)

ものづくり改善インストラクターとして、いくつもの工場を見てきた生産現場改善のプロが、業務改善のヒントをズバリ指摘します。製造現場や工場はもちろん、事務所の改善も大歓迎です。

(当日は、改善したい場所の写真をお持ちください)



担当講師：松田 博史

中小企業診断士、
福井ものづくり改善インストラクター

セミナー開催日

日時：令和2年2月5日(水)、3月4日(水)、3月18日(水)
①9:00~10:30 ②10:30~12:00 ③13:00~14:30 ④15:00~16:30
場所：坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 福井県産業情報センタービル 3階

日時：令和2年2月6日(木)、2月13日(木)、3月12日(木)、3月26日(木)
①9:00~10:30 ②10:30~12:00
場所：嶺南サテライトオフィス(敦賀市神楽町2丁目2-4 アクアトム2階)

お問い合わせ 総合相談窓口【無料・事前予約制】

毎週月曜～金曜(休日・祭日を除く) [嶺北] 9:00～17:00 / [嶺南] 9:00～12:00
TEL:0776-67-7425 FAX:0776-67-7429 E-mail:soudan-g@fisc.jp

URL: <http://www.fisc.jp/consult/sougo/>

総合相談窓口 ふくい Q 検索

※左記URLから専門家の当番予定日や予約状況が確認できます。まずはお気軽にご連絡ください。



県内企業キャリアアップ応援奨励金 モデル企業を募集します

福井県では県内に事業所を有する中小企業を対象に、事業主が継続して人材育成に取り組むため、従業員に学位取得や資格取得を奨励する支援制度を新たに導入し、その制度を活用した実績が出た場合に奨励金を支給します。(※制度計画時に県が認定したモデル企業を対象とします。)

①新たな支援制度(事業主による経費負担+取得支援)を計画→計画届提出

要件①	+	要件②
学位や資格取得のための経費を事業主が負担 (職務命令=全額) (自発的=一部)		取得のために勤務面を考慮 (例) 特別休暇の付与、夜勤免除などシフトの変更 または 取得したことによるインセンティブ (例) 一時金支給、昇給・昇格

②県が審査し、モデル企業として認定

③企業が制度を導入、従業員に周知

④導入した制度を活用して、学位や資格を取得→奨励金申込



計画届の受付期間 令和元年12月2日(月)～令和2年3月6日(金)(当日消印有効)

問い合わせ先
提出先

福井県産業労働部労働政策課産業人材グループ
〒910-8580 (住所記載不要) TEL 0776-20-0388 E-mail rousei@pref.fukui.lg.jp
☆各種様式は県労働政策課ホームページでご確認ください
URL <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/rousei/>



和フレンチiori

フレンチはフォークもしくはお箸でいかが？

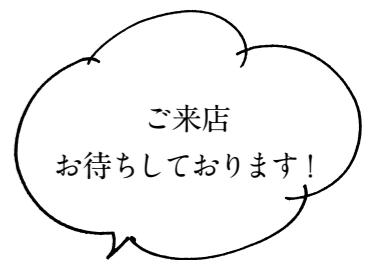
2019(令和元)年7月9日、福井市新田塚アーク1階に新しいフレンチがオープンしました。その名も「和フレンチiori」。フレンチに“和のテイスト”を織り交ぜ、フォークでもお箸でも気軽に食べて欲しいという想いが込められています。同店オーナー兼シェフを務める清水陽介さんは福井市東郷地区出身。調理師学校を卒業後、大阪や県内のホテルなどで腕を磨き、福井県に帰ってきました。

モダンな雰囲気店内。私が感じた同店の大きな特徴は食材と食器です。地元東郷地区の無農薬野菜や福井県ではあまりお目にかかれない野菜を扱います。料理の盛り付けは有田焼の和食器に盛り付け、スープはモダンな抹茶椀で提供します。料理ごとに違った和食器に盛り付けるのですが、これがとても写真映えるんです。

実はこの“野菜”、“和食器”に着目したフレンチは京都を筆頭に注目を集めています。まだ福井県では注目されていないのですが、これから注目されるようになるのではないでしょうか。

福井にあるフランス料理の協会の役員も務める清水さん「お客様に気軽にフランス料理を食べてもらいたいというのはもちろんですが、最近、フランス料理を志望する若い料理人が減少しています。自分のお店、技術を通してフランス料理を食べたい・作りたいと思ってもらえたらうれしいです」と笑顔をみせます。

活用事業: 令和元年度創業支援事業(実施中)



和フレンチiori
福井市新田塚1-1-1 アーク1F
TEL: 0776-43-9559
営業時間
ランチ 11:30~14:00
ディナー 18:00~23:00
定休日: 毎週月曜日

令和元年分 確定申告



福井税務署 Tel(0776)23-2690
敦賀税務署 Tel(0770)22-1010
武生税務署 Tel(0778)22-0890

小浜税務署 Tel(0770)52-1008
大野税務署 Tel(0779)66-2180
三国税務署 Tel(0776)81-3211

申告と納税

窓口での相談・申告書の受付は、
令和2年2月17日(月)からです。

所得税および
復興特別所得税・贈与税
令和2年
3月16日(月)まで

消費税および
地方消費税(個人事業者)
令和2年
3月31日(火)まで

※窓口(確定申告相談会場)の受付時間は9:00~16:00ですが、混雑状況により16時前であっても受付を終了する場合があります。

【スマホでの申告が格段便利に!】

PC・スマホから「確定申告等作成コーナー」で作成した申告書は、ID・パスワード又は「マイナンバーカード」(マイナンバーカード対応スマホ)があれば、e-Taxで送信(提出)できます!

【「電話相談センター」をご利用ください!】

令和2年1月16日(木)から3月16日(月)の期間中、「確定申告コールセンター」にて所得税及び復興特別所得税、消費税および地方消費税(個人)、贈与税の申告に関するご質問やご相談にお答えします。



確定申告には
マイナンバーの
記載が必要です!

スマホからはコチラ!

情報収集と情報発信、企業・イベントPR等に！
「ふくいナビーふくいの企業支援施策を見つけるためのポータルサイト」
をご活用ください

(公財)ふくい産業支援センターでは、県内企業の皆さまの経営に役立つ情報を集めたポータルサイト「ふくいナビ」を運営しております。「ふくいナビ」では、下記のようなサービスを提供しておりますので、ぜひご活用ください。

イベント情報や公募情報などをまとめて見られる！

県内中小企業支援機関による講演会・セミナー等のイベント情報や、国・県等による助成金等の公募情報など、経営に役立つ情報が盛りだくさんです。

メルマガ、メーリングリストなどを無料で提供！

企業と顧客、あるいは企業同士でのコミュニケーション・ツールとして利用できる、メールマガジンやメーリングリスト等の機能を、無料で提供しています。

県内企業の情報を自ら発信！

県内中小企業の皆さまが、自社で開催するイベントや新製品の情報などを自ら発信することができます。



<http://www.fukui-navi.gr.jp/>

お問い合わせ先

ふくいナビ運営事務局 [(公財)ふくい産業支援センター 総務部]
TEL.0776-67-7414 E-mail info@fukui-navi.gr.jp

本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう！

企業情報メール便

販路開拓のチャンス！
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便(チラシ同封サービス)を毎月実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？



●次回実施号

VOL.41 3月25日発行予定

チラシ提出締切日：3月19日(休)
チラシ1,700部をご提出
(持参または配送)願います。

○料金

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
A4判以下のチラシ	6,000円
A4判超～A3判以下のチラシ (二折にしてA4判以下のサイズにすること)	9,000円
A4判以下のパンフレット (10ページ程度まで)	12,000円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT担当
TEL:0776-67-7414 e-mail:kouhou-g@fisc.jp

本誌に関するお問い合わせは

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター <http://www.fisc.jp/>
総務部 TEL 0776-67-7414/FAX 0776-67-7419/E-mail:kouhou-g@fisc.jp
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

皆様の声を
お聞かせください!!

「○○が面白かった、ためになった」、
「△△をもう少し□□にしたらどうか」、
「●●のテーマについて紹介して欲しい」、
「▲▲会社がやっている■■■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

編集後記

こんにちは！いつも最後までお読みいただきありがとうございます。F-ACTもこれで40回目の発行になります。ここまで続けられたことは皆様の貴重なご意見があつてのことです。これからも皆様のお役に立つ情報誌にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

さて、今回の特集は「人手不足」をテーマに組ませていただきました。福井県人材確保支援センターのご協力のもと取材をさせていただきました。特に印象的だったのが、「最近『企業が選ばれる時代』になった」ということです。私は「企業が選ばれるためにはまず労働条件をよくしなければ！」と真っ先に思いましたが、条件を変えずとも求人情報を見直すだけで採用に至るケースもあり、そのように人材確保に成功している会社は、自社の強みや同業他社との違いを上手にアピールしているという印象を受けました。

人手不足にお悩みの経営者の皆様。福井県には支援機関の連携による支援の輪も広がっております。1人で悩まず、まずは相談してみたいかがでしょうか。

新聞記事から集めた 県内企業の新商品・新規事業

当支援センターが収集している新聞記事の中から、県内企業の新商品・新規事業に関する記事をピックアップしました。

■収集期間：令和元年11月1日～元年12月31日

■収集対象：福井新聞、日刊県民福井、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞

【食料品/飲料】

同社は越前がが解禁された11月6日に、新商品「白岳仙 純米吟醸荒走(あらばしり)」を発売する。発酵の際に発生するガスのシュワシュワとした口当たりで「蔵で飲んでいるようなライブ感」が楽しめる。	安本酒造(福井市)
クラウドファンディングサービスを利用し、無農薬の米飯米「ハナエチゼン」を使った酒造りに挑戦している。売り上げの一部は酒蔵前にある八坂神社に寄贈し、酒蔵の象徴的存在といえる桜の苗木を植樹する計画。	丹生酒造(越前町)
特産品の販路拡大を目指す「地域商社」の同社が地元で取れた海産物の加工開発製造、PRなどを行う拠点として11月16日、同町塩土に加工販売所をオープンさせた。	まちから(高浜町)
パン製造の同社は餅の製造に参入した。製造するのは丸餅、おはぎ、安倍川餅の3種類。原料は全て福井産の餅米を使い、おはぎの餡も自社工場で作る。12月上旬に販売を開始し、主力のパンに続く新たな収入源に育てる。	オーカワパン(坂井市)
酒販店「リカーワールド華」を展開する同社は、福井県産ソバを使用したクラフトビールと、鯖江市河和田地区の伝統薬味「山うに」で味付けた「あられ」を商品化・販売し、福井が誇る食材を発信する。	華(福井市)
日本酒「梵」の醸造元の同社は、純米大吟醸酒「梵 GOLD」を原材料に使ったレトルトカレー「純米酒カレー」を商品化した。同社の酒は、著名な料亭や和食店で料理の隠し味として使われており、カレーに加えてもおいしいのではと発案。	加藤吉平商店(鯖江市)
和菓子製造販売の同社が、人工知能(AI)を活用した来客数の予測システムを導入した。過去3年分の日々々の来客数、翌日の天気や気温などの気象情報、曜日などから、翌日～4、5日後の来客数をはじき出す。的中率は9割前後である。	御素麺屋(福井市)
食品レシピ企画などの同社が西部福井本店地下に続き、同市高柳に総菜専門店2号店をオープンさせた。主婦層に気軽にテイクアウトしてもらおうと、福井市郊外の商業圏に出店。	デリアテール(福井市)

【繊維/衣服】

経営革新や技術開発に優れた中小企業を表彰する「第53回グッドカンパニー大賞」の優秀企業賞に、繊維資材製造業の同社が選ばれた。県内からの受賞は9年ぶり7社目。

【眼鏡】

折り畳むと薄さ2ミリになる老眼鏡「ペーパーグラス」を製造・販売する同社は12月5日、同日オープンの商業施設「東急プラザ渋谷」に直営店を開いた。直営店は帝国ホテルなどに続き4店舗目。	西村プレジジョン(鯖江市)
眼鏡フレーム企画製造の同社が、初のオリジナルブランドを立ち上げ、サングラス3モデルを来春に発売する。売り上げの一部を病気や災害などで親を亡くした子供たちの進学を助けるあしなが育英会に寄付する。	YPC(福井市)

【建設】

建設業の先端測量技術を知ってもらおうと同社は同市の福井農林高校でドローンを使った測量実習を行った。業界で普及しているICT(情報通信技術)測量を知ってもらい、未来の担い手確保に繋げようと同社が初めて企画した。

【その他の製造業】

越前漆器の若手職人を支援しようと、同社近く複合施設がオープンした。漆塗りの体験など一般向けとしても開放しており、越前漆器の魅力を知ることが出来る施設となっている。	丸山久右衛門商店(鯖江市)
仏壇の金具製造の同社が、位牌や遺骨などを納める竹製の小型仏壇「かくや厨子」を製作した。自宅に仏間がなく、位牌を飾っているだけの人もおり、大都市圏の人から注文を受けたという。	小林家具工芸社(福井市)
業務用食器、家具企画製造販売の同社は、ペットボトルを再生したプラスチックを使った眼鏡フレームと、プラスチックで高級木材の重量感を再現した和包丁用の柄を開発した。	ユニバーサルエージェント(鯖江市)

【商業/サービス】

福井県内のベンチャー企業の社長らが資金を出し合い、県内の若手起業家の支援をする同団体を11月上旬に立ち上げ、年1～2回のコンテストを開催。優勝者には100万円を出資もしくは授与するほか、社長らが直接、商品化や事業開始を援助する。	OPEN TABLE福井(福井市)
電子商取引(EC)サービスの同社は、越境EC事業者向けシステム「URetail(ウレテイル)」を開発した。クラウド上にシステムにアクセスすれば、海外製品を扱う国内事業者などが、受注や発注、出品までを一括で管理できる。	ファーストトレード(あわら市)
不動産業や介護事業所運営の同社は、脳梗塞による後遺症のリハビリを専門とする施設を同市丸山1丁目にオープンした。保険適用外で料金は利用者負担のシステム。	シンカイ(福井市)
高圧ガス、化学、機械装置開発、各種プラント設計施工の同社は情報インフラサービスを取り扱うオールコネクトの子会社を買収した。それぞれの社で運営していた異なるエリアの地域密着型ポータルサイト「まいふれ」を12月に統合した。	ナカテックグループ(坂井市)
女性向けファッションブランド「アクシズファム」を展開する同社の子会社が、福井県内の伝統工芸品や雑貨を扱うネット通販サイト「a.department store(エードットデパートメントストア)」を開発した。	アイジーイー(越前市)
ガラス建材のネット通販を手掛ける同社はスマートフォン専用の建材の会員制情報サイトを立ち上げた。今年2月に同社が創刊した1級建築士向けのフリーマガジンがインターネット上で読めるようになるほか、そこで紹介されている建材の購入などもできる。	OOKABE GLASS HD(福井市)
通信インフラサービスを取り扱う同社の子会社が、インターネットのビデオ通話でスマートフォンの購入契約が出来る国内初のサービスを始めた。自宅に居ながらオペレーターと対面、相談して購入できる。当面は午後6時～午前0時の運用で、ショップに行く時間のないビジネスマンや子育て世代をターゲットにする。	オールコネクト(福井市)
福井市で美容室「SESSION」を4店舗経営する山崎嘉一さんが来年2月1日、同市内にベトナム料理を提供する「サイゴンカフェ」をオープンする。業界の人材不足なども踏まえ、若杉店をカフェに改装する。	SESSION(福井市)



経営者・個人事業主のみなさまへ

法人カードはビジネスをトータルにサポートする
信頼と安心のカードです。



経理の合理化・効率化が可能



出張経費に



効率的な資金運用

様々なシーンで業務の効率化が図れます!!



ガソリン代に



仕事とプライベートの切り分けが明確に



接待交際費に

ご利用合計金額に応じてポイントがたまり、ギフトカードなど
バラエティー豊かな商品に交換できます。



お申込みはお近くの福井銀行窓口まで。(福井銀行はDCカード、JCB法人カードの取次をしています。)

株式会社福井カード FUKUI BANK GROUP

〒910-0023 福井市順化1丁目2番3号 TEL.0776- 21-7881 (9:00~17:00土日祝休み)

貸金業者登録番号:北陸財務局長(11)第00024号/包括信用購入あっせん業者登録番号:近畿(包)第10号
日本貸金業協会会員 第002758号/一般社団法人日本クレジット協会会員 第041340000号

福井カード

検索